

芽室町地域マイクログリッド導入ポテンシャル調査業務委託事業者選定結果及び講評

国は、2020年10月に「カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月には新たに「温室効果ガス排出量を2030年までに2013年比46%削減、2050年までに温室効果ガス排出量ゼロ」の目標を掲げている。

芽室町では、国や北海道などの動きを踏まえ、2050年ゼロカーボンの実現に向けて「芽室町地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」を策定した。その計画中に、省エネだけでは達成できない二酸化炭素排出抑制を再生可能エネルギー導入により行うことを明記し、公共施設へのマイクログリッド導入調査の実施を盛り込んでいる。

今回の調査については、マイクログリッドの設備・システム構成を検討し、構築実現の可能性を調査すること、基本計画（案）を作成することを目的としている。

調査に当たっては、公共施設の持つ導入ポテンシャルや施設の耐荷重などの調査や、電力需給状況などの結果をもとに、構築に向けた基本計画（案）を作成する業務であり、事業者からの独自提案を期待する点も大きく、幅広い分野において高い専門性が求められる業務であることから、公募型プロポーザルを実施した。

1 審査経過

再生可能エネルギーに係る有識者及び行政関係者で構成する「芽室町地域マイクログリッド導入ポテンシャル調査業務委託プロポーザル審査委員会」（以下「審査委員会」という）を設置し、全2回の審査を行い、優先交渉権者及び次点者を選定した。

(1) 第1回審査委員会（令和6年7月31日）

委員委嘱及び委員長互選の後、芽室町地域マイクログリッド導入ポテンシャル導入調査業務委託プロポーザル実施要領等を審査し、決定。

(2) プロポーザル公告（令和6年8月5日）

(3) 審査確認結果通知（令和6年8月20日）

(4) 第2回審査委員会（令和6年9月30日）

審査基準及びヒアリング審査の実施方法等について審議し、決定。

その後、提案書類、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。会社名・審査委員名は伏せ、提案事業者からの説明を受け、審査委員から質疑を行った。ヒアリング後に各委員による評価を行い、評価点の集計を行い、審査委員会での討議を経て優先交渉権者及び次点者を選定した。

2 審査結果及び講評

(1) 審査結果

項目		評点基準	配点	A	B	C
業務実施体制		本業務の目的や内容が適切に理解されているか。本業務への基本的な考え方、実施方針が示されているか。	120	84	88	84
		経験や資格等を含めた人材、実施体制が業務遂行に適しているか（人員配配置、業務実施体制の根拠など）	60	44	44	46
		作業スケジュールは、実現性及び実効性のあるものになっているか。	60	40	42	42
芽室町公共施設等再生可能エネルギー導入調査業務提案書	設備・システム構成検討	導入可能性の有無調査に当たり、町が選定した施設の状況等を的確に理解・把握して分析等を行う考え方・手法が示されているか。	60	40	42	40
		導入設備の負荷調査、種類、容量の検討を行うための手法が適切に示されているか。	60	40	42	44
		導入設備の規模や配置予定地の状況等を的確に把握し、構成するシステムの検討を行う考え方・手法が示されているか	60	42	40	40
	マイクログリッド構築の実現可能性の評価	導入設備配置案・電力供給体制、事業案の検討手法が具体的かつ実現可能となる提案として見込める内容か。	60	42	38	36
		平常時におけるエネルギー需給シミュレーションによるマイクログリッド電力需給量の算出方法が適切に示されているか。	60	40	36	38
		災害時におけるエネルギー需給シミュレーションによるマイクログリッド電力需給量の算出方法が適切に示されているか。	60	38	40	38
		事業性や環境性の推進を適切に行い、具体的かつ実現可能となる提案として見込める内容か。	60	40	40	40
	基本計画案の検討	発電量、導入可能量、CO2削減量の試算を行うための手法が適切に示されているか	60	36	38	38
		導入に当たって生じる課題を把握するための検討手法が適切に示されているか。	60	42	42	42
		事業化スケジュール案や基本計画案の作成が、区域施策編を反映し、具体性や実現性のある内容として提案されているか	120	80	72	80
企画提案		提案に当たり、工夫やアイデア、複数のエネルギー活用の検討など、独自や新たな視点からの提案が盛り込まれているか。	180	138	132	120
委託事業費		事業実施に当たり、作業内容等を工夫し、事業コストの圧縮・削減を図りつつ、効率的かつ適正な費用積算を行っているか	120	76	76	80
総合計			1,200	822	812	808

(2) 選定基準

- ①配点は、委員一人あたりの持ち点数（委員1人当たり200点。委員合計1,200点）
- ②評価点の合計得点が配点合計（200点）の60%以上、かつ各評価基準の評価点がすべて40%以上の参加者を候補者として選考する。

優先交渉権者 愛知県名古屋市長久区瑞穂区須田町2番56号
日本ガイシ株式会社
代表取締役 小林 茂

次点者 東京都千代田区麹町5丁目4番地
日本工営エナジーソリューションズ株式会社
代表取締役 横田 裕史

(3) 講評

今回のプレゼンテーションにおいては、各提案事業者が事業の目的を理解し、それぞれのノウハウを生かした提案があった。

優先交渉権者に選定した日本ガイシ株式会社の提案は、説明が分かりやすく、内容が理解しやすかったことは大きい点である。質問に対する回答も明確である。

また、提案された内容が多岐にわたっており、実際の実現性については未知な部分はあるものの、マイクログリッド構築の具体的な形が見えるような基本計画（案）の作成が期待できると感じられるものである。

さらに、提案説明のあった町民等への啓蒙活動やマイクログリッド発動訓練などは、マイクログリッドに対する地域の理解や訓練による課題抽出と対策につながるものであり、実際の災害時において地域住民に対してどのような影響が想定されるのかが具体的にイメージできることや、訓練による町職員の迅速な対応スキル向上につながる内容であり、地域全体への波及効果として期待が持てるものである。

次点者である日本工営エナジーソリューションズ株式会社についても、資料等が分かりやすく作成されたものであった。

また、基本計画（案）の検討について、発電量・導入可能量の試算において他の事業者の提案にはない調査方法を用いながら検討する内容を高く評価する意見もあった。

なお、本町では現在、公共施設等再生可能エネルギー設備等導入調査を委託事業として実施しているところであり、今回の地域マイクログリッド導入ポテンシャル調査とも大きく関連するものと考えられる。

このことから、本事業の実施に当たっては、公共施設等再生可能エネルギー設備等導入調査に関する事項についても理解の上、相互関係を保ちながら業務を遂行していただくことを当委員会として求めるものである。

最後に、本プロポーザルに参加され、真摯に努力いただいた関係各位に心より感謝する。

芽室町地域マイクログリッド導入ポテンシャル調査業務委託
プロポーザル審査委員会

委員長 山形 定

審査委員会委員名簿

	役職	氏名	所属等
1	委員長	山形 定	北海道大学大学院工学研究院地域環境研究室 助教
2	委員	北口 敏弘	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業 技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所 資源エネルギー部エネルギーシステムグループ シニアアドバイザー兼主査
3	委員	林田 淳	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業 技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所 資源エネルギー部エネルギーシステムグループ 主査
4	委員	佐藤 季之	芽室町都市経営課長
5	委員	橋本 直樹	芽室町環境土木課長
6	委員	中島 広貴	芽室町総務課長補佐兼危機対策係長